

止まり木



New One Step!



5月15日(水)より3年生修学旅行を2泊3日で実施しました。今年の修学旅行も予定していた日程で予定していた方面(長野・白馬方面)に行くことができました。

初日の最初の活動は、犀川でのラフティングでした。少し肌寒さも感じたとは思いますが、スタート直後から子どもたちは満面の笑顔で大自然の中、ちょうどよいスリルと爽快感を楽しんでいたと思います。ホテル(五龍館)での入館式を終え、最初の夕食。

食事係の「いただきます」の前の「**楽しい修学旅行になるようにみんなで乾杯しましょう**」と水のはいいたグラスを高々と掲げて乾杯したのは印象的でした。夕食後は、入浴をし、部屋で思い思いの過ごし方をしていました。



2日目は、選択型体験学習として①マウンテンバイク②カヤック③イカダ作りに分かれての活動となりました。校長先生はカヤックの担当だったのでマウンテンバイクの様子を見ることはできませんでしたが、楽しそうにまた、気持ちよく自然の中を走っている様子が、送られてくる写真から実感できました。カヤックとイカダ作りは青木湖で行われ、隣同士で活動をしました。カヤックは最初なかなか思った方向に進まず、同じところをぐるぐる回っている人もいました。

しかし、慣れてくるとどんどん進めるようになり、瞬く間に見えないところまで進んでいました。イカダ作りは自分たちで板や浮き輪を使って作るのところから始め、出来上がるといよいよ湖に出ていきます。「浮かんだあ!」と喜んだのもつかの間、一瞬にして破壊したグループもありました。しかし、その後も水温を忘れるくらいイカダ遊びを楽しんでいました。

昼からはEXアドベンチャー、高さ8メートルに作られた空中アスレチックのハイエレメントとグループでの課題解決や仲間との信頼関係づくりを目的とするローエレメントを順番に体験しました。ハイエレメントではスタッフの方から最初に言われた「**一步を踏み出す勇氣**」の言葉通り、悲鳴を上げながら、足を震わせながらも一步一步進んでいました。ローエレメントは様々なゲームをしながら仲間との友好を築き、本当に楽しそうにしていました。急に風が強くなり、気温が下がったのには驚きましたが、それはそれで自然の厳しさを感じることができました。

夜はいよいよ待ちに待ったレクリエーション大会。長い時間をかけて準備をしてくれたレクリエーション係の人たちの苦勞が報われる楽しいひと時になりました。Yes or Noクイズでは先生方にまつわるクイズも出され、様々な歓声が上がっていました。先生方の**秘情報**も知ることもできましたね。とにかく大爆笑したのが、目隠しをしてぐるぐるバットで10回回り、目隠しをしたまま頭の上の風船を割るゲーム。相手の気配を感じるたびにびくびくしながらバットを振り回す姿。それぞれが**独特の動き**をするので応援しながらもとにかく笑ってしまいました。おもしろかったなあ。

そして最後は『劇:横堤ラブストーリー』 ついに衝撃の実写化ということで実話? 創作? 迷いながら見ていました。内容もさることながら、役者の人が**恥ずかしがらずに堂々と演じている**ことに感心しました。物語はまだ続くようで最終話が楽しみです。そして、校長先生が一番印象に残ったのは、このレクリエーションを終始見事なマイクパフォーマンスで進行してくれた司会の人たちです。ほとんどをアドリブでこなす様子は本当に見事でした。

最終日は選択型体験学習①とんぼ玉②陶芸③そば打ちをそれぞれが体験し、昼食後、帰路につきました。

修学旅行に出発するとき、校長先生は3年生に3つの話をしました。1つは無事に行って無事に帰ってくる。2つ目は修学旅行の意味を考え、ルールや約束を守りながら思い切り楽しむ。そのために今何をすべきか考えて**考動**する。そして、自分たちで考えた修学旅行のスローガン(目標)である『**New One Step**』を実感できる修学旅行にしてほしいと伝えました。そして解散式の時にはこの「New One Step」を修学旅行の時だけでなく今後も忘れないでほしいと話しました。今まで嫌だから、苦手だからとさけていたことにも新たな一步を踏み出してほしいと心から願っています。